

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 : ひまわり

作成日 : 平成23年12月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号		目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進委員会での議事内容は参加者のみが分かり、不参加の家族には内容が伝わっていない。 ひまわりでの認知症勉強会を毎月行っているが、推進委員会からの参加への希望もあっている。	運営推進委員会の方、入居者の家族の方との情報の共有を行う。	・毎月の運営推進委員会の議事録をコピーし、運営推進委員会不参加の方(運営推進委員会のメンバー、、入居者の家族の方)へお渡しする。議事録は事務室に置いておき、家族の名前を書いた付箋紙をつけて、渡した後は一覧表ノートを作り漏れが内容にチェックする。又毎月の利用料請求書の中に、担当スタッフが家族の方へ3行手紙を添えて、近況報告を行いひまわりへ親近感を持ってもらう。 ・認知症勉強会は、運営推進委員会の中に15分間テーマを決めて潤幸会部長が行うこととする。(認知症勉強会は既に11月の推進委員会で実行している。)	6ヶ月
2	35	毎月行っている防災訓練は潤幸会全体とひまわり独自で行っているのみで、地域の方の協力の下には行っていない。又、地震を想定した訓練も行っていない。	近隣の方の協力を得て防災訓練を行う。 地震を想定した訓練も行う。	・運推推進委員会の方の意見を聞きながら、近隣の方の協力を得た火災訓練を行う。 近隣の方へ防災訓練の日にちをお知らせして協力をいただく。 ・来年度の防災訓練の中に、潤幸会防災担当と会議をして地震を想定した訓練を行う。	6ヶ月
3	40	食事を入居者と職員が全く別のテーブルで摂っている。入居者との会話もできず食事状況、摂取量の把握ができていない。	職員が入居者のテーブルと同席して食事する。	3つテーブルがあるので職員が一人ずつ分かれて入居者と一緒のテーブルに同席し食事をして、会話を楽しみ食事量摂取状態の把握、食がない人への声掛け、ケアを行う。これらのことを日々のカルテへ記入する。 (カンファレンスを行い既に実行中)	1ヶ月

4	10	運営推進委員会では、過去2ヶ月間の行事報告を行っているが、家族からの意見や苦情については報告していなかった。運営規定の中の「苦情処理のための概要」に相談窓口としての公的機関の電話番号等の記載がない。	運営推進委員会で意見や苦情の報告を行う。運営規定の中に公的機関の電話番号等の記載を行う。	意見や苦情があった場合は、カルテ記入や上司への報告、苦情処理委員会での報告を行うことはもとより、運営推進委員会時に報告する。運営規定の公的機関の電話番号や住所等は潤幸会の事務課で依頼した。	3ヶ月
5	52	現在日めくりカレンダーは、手書きで作ったもので風に吹き飛ばされないように金のクリップで留めている。見た感じが無機質であるグループホームにふさわしくない。	やわらかい雰囲気的环境作り	紙ではなく、シーティングとフェルトで数字を作り、(数字はパソコンで作る)日めくりカレンダーを作り、ロビーの中で優しい感じを受けるように作成する。既に現在作成中である。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。